

平成24年度 Q I の設定と改善のための活動報告

14

部署名	臨床教育・研修部	代表者	川崎 靖子
-----	----------	-----	-------

1. 設定した指標

- ①研修医一人当たりの指導医数
- ②研修医用講座開催数

2. 指標の説明

①について

臨床研修病院入院診療加算の施設基準に研修医の数と指導医（臨床経験が7年目以上）の人数を届出する。指導医講習会で、明確化した指導内容・方略を身につけた指導医が数多くいる施設は、それだけで研修医指導を重視しており、優れた医療の提供に真摯に取り組んでいる施設であるという可能性が高いといえる。従って効果的な臨床研修病院としての指標になる。

②について

研修医が1人前の医師として安全で快適な医療を提供できるよう育成するためには、幅広く標準化した知識・技能を修得できるよう指導することが必要である。そのために1年間に開催した研修企画内容および研修回数は、効果的な臨床研修病院としての指標になる。

3. これまでの指標データ

①研修医一人当たりの指導医数

年度	指導医数 (人)	研修医数 (人)	研修医一人当たりの指導医数 (人)
平成23年度	15	32	0.47
平成24年度	19	32	0.59
平成25年度	24	31	0.77
参考値（全国平均）平成16年			0.65

②研修医用講座開催数

年度	年間開催数	研修内容
平成23年度	35回	モーニングレクチャー、ACLS、BLS、CPC
平成24年度	125回	基本臨床講座、研修医症例検討会、CPC モーニングレクチャー、イブニングレクチャー ACLS、BLS、エコー実技講習会 外科的手技講習会、接遇研修
平成25年度	129回	基本臨床講座、研修医症例検討会、CPC モーニングレクチャー、イブニングレクチャー ACLS、BLS、エコー実技講習会 外科的手技講習会、接遇研修

○ 分母・分子、除外データ、データ抽出元など

①について データの定義: 研修医一人当たりの指導医数
分子 指導者講習会を受講済みの指導医の人数
分母 初期研修医(1年目と2年目の合計人数)

②について データの定義: 1年間に、研修医を対象に行った講座(座学・実習)の総数

4. 評価及び指標改善に向けて行った活動など

①について

指導医講習会受講者の増加を図って、年間4名ずつ研修に出して受講者を増やした結果、平成24年度は19人になり、研修医一人当たりの指導医数は0.59人と昨年より増加した。しかし、全国平均の0.65人と比較して低いのが分かる。聖路加国際病院や聖隷浜松病院と比べると、5～6倍の開きがある。指導医が多いことは、教育体制基盤の評価につながるもので、よりいっそうの努力が必要である。

②について

今年度は各分野の医師に協力を求め、新たに6つの講座を開設した。その結果、講座回数は昨年の35回から125回と大幅に増えた。また、シュミレーションセンターが整備されたことで、外科的手技（縫合、挿管、中心静脈穿刺、内視鏡手術）や、ACLS終了認定証の確保など、技術研修を充実させることができた。また、エコー実技講習（腹部エコー・心エコー）では、生理機能検査技師の協力も得て実技指導を行うことができた。その他、イブニングレクチャーでの問診技術などで、専門的知識・技術を習得させることができた。